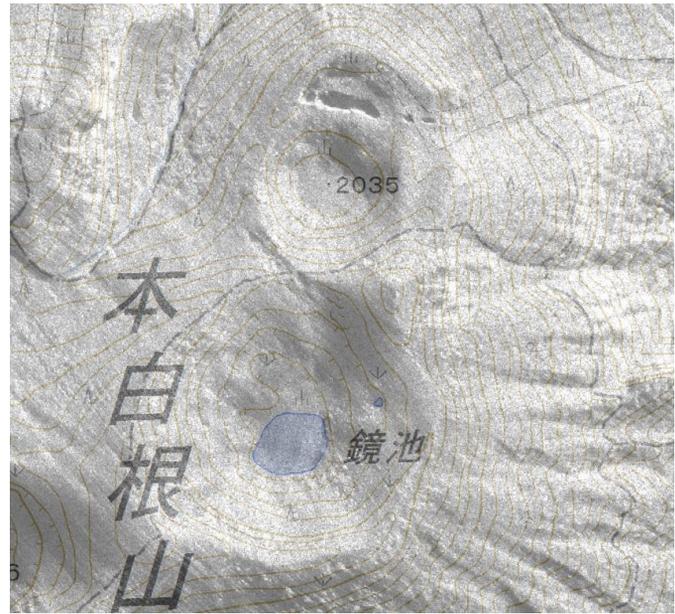


くにかぜⅢによる噴火後の航空機SAR画像



0 200 400 600 m

北東側からのSAR観測画像(速報)



0 200 400 600 m

左の図に簡易に地図情報を重ねたもの

- ・国土地理院は、平成30年1月27日、測量用航空機くにかぜⅢに搭載したSARを用いて草津白根山周辺の観測を行いました。
- ・高度約4,250m、入射角70度で、2方向(南・北東方向)から観測しました。
(上に示した画像は北東側から観測した画像)
- ・画像では、本白根山の鏡池北火砕丘の火口北側に、東西に延びる長さ90m程度のくぼ地と直径20m程度の複数のくぼ地が列状に並んでいます。また、これらの西端からさらに200m程度西側には、ALOS-2など他の情報と整合するくぼ地が見られます。なお、噴火前に作成された地形図ではこれらのくぼ地と対応する地形は確認できません。